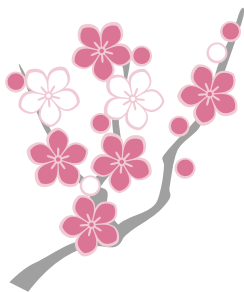


京都霊園だより

やまびこ

【二〇一四年春号】



京都霊園だより

やまびこ

2014年
春号

やまびこ 第176号

発行：平成26年3月1日

発行所：宗教法人・仏舎利苑

京都市西京区大枝沓掛町26番地

TEL 075-331-0221代表 FAX 075-331-0223

目次

CONTENTS

2

やまびこ百科

おもしろ京都学

3～4

おもしろ京都学 京都と栄西

5～6

おもしろ京都学 京の流れ

7

おもしろ京都学 情報ファイル

8

一寸いい一言

9～12

保存版 京阪京都交通バスガイド

13～14

京都霊園墓地使用規定

15～16

しきたりQ&A

17～18

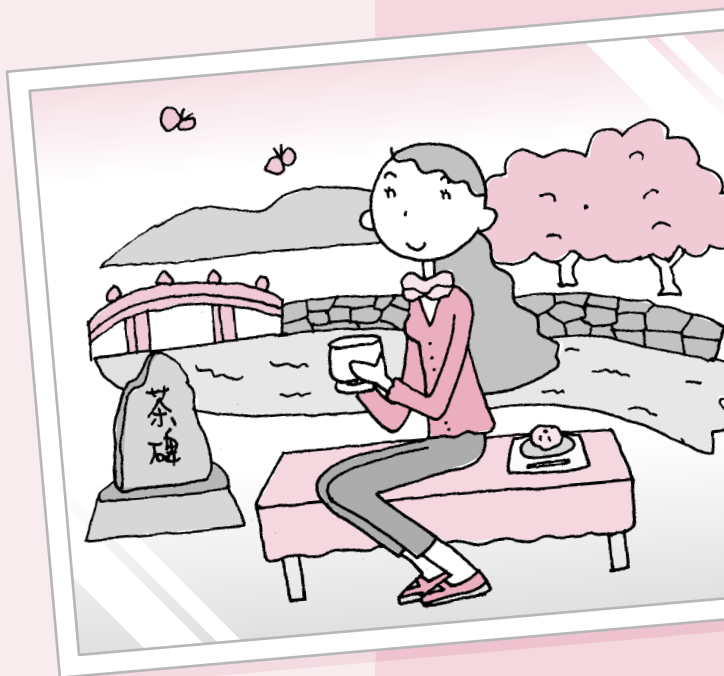
仏教用語の基礎知識

19

故人の遺徳を偲ぶ 年忌法要

20～21

伝言板 京都霊園NEWS



やまびこ百科

おもしろ

京都学 その十九

今回は、鎌倉初期の禅僧・栄西の生涯と、
京を流れる小さな川にスポットを当ててみました。
栄西が日本に紹介した喫茶の習慣は、
茶の湯の文化を生み出し、
暮らしにくつろぎの時間をもたらしました。
小さな流れは街の表情にうるおいを与え、
こころ休まるオアシスとなっています。
あわただしく過ぎ行く毎日だからこそ、
ほっと一息つけるひとときを大切にしたいものです。

比叡山の腐敗に落胆

栄西は永治元年（二四一年）4月20日、いまの岡山県西部にあたる備中国の吉備津神社の神官の子として生まれました。幼いころから抜きこんでた英才を発揮したとされ、11歳で地元の安養寺の静心和尚に師事して天台密教の基礎を学んでいます。13歳で比叡山延暦寺に登り、翌年14歳で出家得度。比叡山と郷里の安養寺などを行き来しながら、本格的に天台密教を学びます。平治元年（二五九年）には比叡山の有弁のもとで学び始めますが、当時の比叡山では教義の解釈をめぐる争いが絶えず、公家社会と癒着して腐敗し切っていました。心ある僧侶は次々と山を降り、栄西もやがて比叡山を後にします。

おもしろ京都学

京都と栄西

平成26年（二〇一四年）は
栄西の八百年遠忌にあたります。



船旅での加護に感謝して

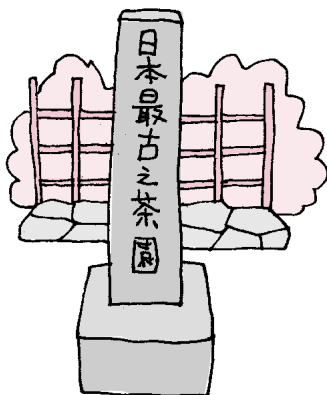
若い栄西は、宋で正法を学び日本の仏教の誤りを正したいという願いを抱いていました。当時は世情が混乱して渡航は非常に難しい状況でしたが、仁安3年（二六八年）28歳と、文治3年（二八七年）47歳の2回にわたって渡航。1回目の渡航では天台の経巻60巻を持ち帰り、2回目は4年にわたって天台宗発祥地の天台山で修行に励みました。帰国の際には暴風雨に見舞われて遭難しそうになりますが、恵比寿神が現れ栄西を救ったといわれ、建仁寺建立の際、栄西は境内に恵比寿神を祀って鎮守としています。応仁の乱の後、建仁寺の再建の際に恵比寿社は移転し、「京都多びす神社」として今も人々の信仰を集めています。

喫茶の習慣を広めた茶祖

宋での禪の修行には茶を用いた儀式が多く、特に座禅の際のお茶は眠気覚ましに重宝されていました。修行を通して茶の優れた効果を実感した栄西は、2回目の渡航の際に茶の種子を持ち帰り、筑前（福岡県北西部）の山地にまきます。さらに、茶の製法や効用などを紹介した『喫茶養生記』を記して茶の普及に努めたことから、日本の「茶祖」と呼ばれています。また栄西は、交流のあった京都・梶尾の明恵上人にも種子を贈ったとされています。梶尾ではこの種から品質の高い茶が栽培され、後の宇治茶のルーツになります。梶尾の高山寺の茶園には今も『日本最古の茶園』の石碑が建ち、八十八夜のころには茶摘みも行なわれます。

日本最初の禪寺を創建

宋で臨済宗の教義を学んで帰国した栄西は、九州で足場を固めた後、京都での布教活動を開始します。しかし、比叡山をはじめ政治と癒着していた仏教界からさまざまな政治的妨害を受けます。九州に戻った栄西は、日本最初の禪寺である聖福寺を創建。国を護るために禪を興すという主旨の『興禪護国論』などの書物を著して正当性を主張しますが、布教は認められません。比叡山の迫害を避けて鎌倉に赴いた栄西に帰依したのが、2代将軍頼家や北条政子です。建仁2年（一二〇二年）、頼家の庇護のもと、栄西は遂に京都で最初の禪寺・建仁寺を創建します。長年の大願が果たされたこの年、栄西は62歳になっていました。

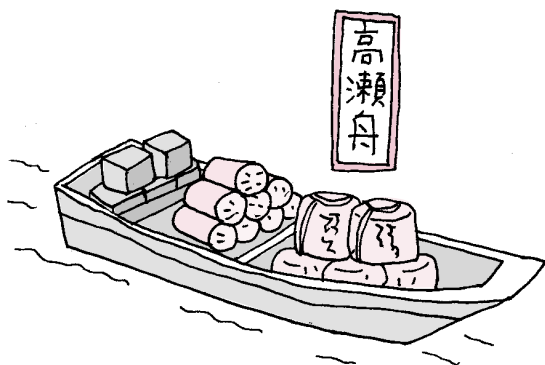


天神さんを境に呼び名が変化

紙屋川は、平安時代に朝廷が用いる紙を漉く「紙座」があつたことから名づけられました。また、平安京が造られたときには、中央を貫く朱雀大路を挟んで東側に堀川があつたことから「西堀川」とも呼ばれ、朝廷の重要な儀式の際には、上流で禊^{みそぎ}が行なわれたそうです。時代が下がって、天正19年（一五九一年）に豊臣秀吉が御土居^{おどい}を築いた際には、紙屋川が市中の西端とされ、北野天満宮の西側では川が御土居の堀として活用されていました。現在の河川法では、全長14キロが北野天満宮に由来する「天神川」と総称されていますが、京都の人々は北野天満宮より上流を紙屋川、下流を天神川と呼んでいます。

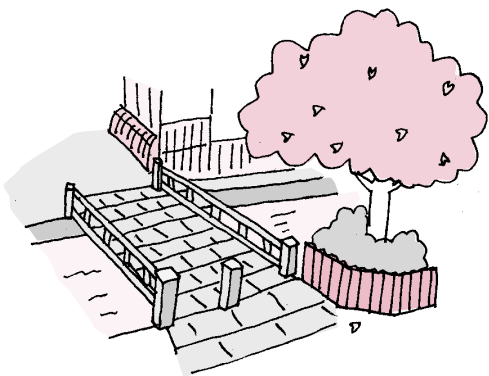
物資輸送の大動脈

高瀬川は、角倉了以^{すみのくさりようい}によつて慶長19年（一六四四年）に開かれた運河です。高瀬川の完成により舟での運搬が可能になり、川沿いには問屋が軒を並べ、物資の積み降ろしを行なう舟入^{ふないり}が作られました。二条の「二之舟入」には角倉家が邸宅を構え、運航を管理したそうです。また、今も残る材木町、石屋町といった町名は、同業者が集まった当時の町の様子を伝えています。物資の運搬に使われた舟は、浅い川でも荷物を満載して航行できる平底の「高瀬舟」で、高瀬川の名はこの舟からとつたものです。舟は島流しの罪人や伏見稻荷への参拝客も乗せ、森鷗外の『高瀬舟』には舟中での会話が綴られています。



白く濁って見えるから白川

白川は比叡山麓の水を集めて、北白川、岡崎、祇園を流れる全長約9キロの川です。北白川一帯の地質は花崗岩が主体なので川底が白く、水が白濁して見えることから「白川」と名づけられました。溪谷を流れる上流と市中を流れる下流で川の表情がまったく違い、京の風情が漂う祇園の白川畔には吉井勇の歌碑が建っています。「かにかくに 祇園はこひし 寝るときも 枕のしたを水のながるる」。この場所にはかつて「大友」というお茶屋があり、文芸に通じたお多佳さんという女将を慕って夏目漱石や谷崎潤一郎らが訪れていたそうです。当時の大友は白川に張り出して造られ、歌に詠まれたような風情を味わえたと伝えられています。



京の流れ

おもしろ京都学

市民の憩いの場として復活

平安京が造られる際、大内裏造営に用いる木材を北山から運搬するために開削されたのが堀川です。平安時代には、堀川院、冷泉院など公家の邸宅が川沿いに建ち並び、清流を引き込んだ庭園が築かれたそうです。当時は朱雀大路を挟んで東西に運河があり、西堀川（紙屋川）に対して東堀川と呼ばれていました。その後も、長年にわたって木材の運搬、友禅流し、農用水などに利用されてきましたが、昭和に入ると度重なる浸水被害が起き、昭和20～30年代の対策事業で水源を断たれました。それから50年、堀川は親水公園として整備され再び流れが戻りました。ほたるを自生させる取り組みも進められ、市民の憩いの場となっています。

■比叡山延暦寺

滋賀県大津市坂本本町4220

☎077-578-0001

交通／叡山電車「八瀬比叡山口」から叡山ケーブル・叡山ロープウェイ
「比叡山山頂」下車、バスで「延暦寺バスターミナル」下車徒歩約10分

■京都ゑびす神社

京都市東山区大和大路通四条下ル小松町125

☎075-525-0005

交通／京阪「祇園四条」下車徒歩約6分、阪急「河原町」下車徒歩約8分

■梅尾山高山寺

京都市右京区梅ヶ畑梅尾町8

☎075-861-4204

交通／JRバス「梅ノ尾」下車すぐ、市バス「高雄」下車徒歩約15分

■建仁寺

京都市東山区大和大路四条下ル小松町584

☎075-561-0190

交通／京阪「祇園四条」下車徒歩約7分、阪急「河原町」下車徒歩約9分

■北野天満宮(御土居)

京都市上京区馬喰町

☎075-461-0005

交通／市バス「北野天満宮」下車すぐ

■高瀬川 一之舟入

京都市中京区木屋町通二条下ル

交通／地下鉄「市役所前」下車徒歩約4分

■吉井勇歌碑(かにかくに碑)

京都市東山区白川南通巽橋元吉町

京阪「祇園四条」下車徒歩約5分、阪急「河原町」下車徒歩約7分

■堀川親水公園

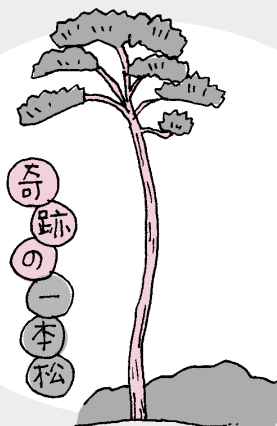
京都市上京区堀川今出川～中京区堀川押小路間

交通／市バス「堀川今出川」「堀川御池」「二条城前」、
地下鉄東西線「二条城前」下車

かなしみはちからに、欲^ほりはいつくしみに、
いかりは智慧にみちびかるべし。(宮沢賢治)

宮沢賢治は、大正4年(一九二五年)に盛岡高等農林学校(現在の岩手大学農学部)に進学し、保坂嘉内^{かない}と親しくなります。二人は他の学友たちと同人誌「アザリア」を創刊。短歌をはじめとする作品を発表しますが、嘉内の寄稿文が当局から危険視されて退学処分となり、郷里の山梨に帰ってしまいます。これを機に、賢治は嘉内に多くの手紙を送るようになります。た。「かなしみは」は、大正9年に送られた手紙の欄外に書き加えられています。当時、嘉内は東京で兵役に就

き、賢治は父との確執に心を痛めていました。賢治は手紙でお互いにしっかりとやりましようと言ったあと、この言葉を書き加えたようです。悲しみは力に、欲望は慈しみに、怒りは知恵へと変わっていく。心持ち一つで生きる姿勢が変わってくるという思いがこめられた言葉は、逆境にある人に生きる勇氣と希望を与えてくれます。大震災で甚大な被害を受けた賢治の故郷・花巻をはじめ、東北地方では震災以降、賢治のこの言葉がたくさんの方々の力となっています。



京都駅前・阪急桂駅東口・JR桂川駅前の各バス乗り場から京都成章高校前行きの路線バスが、沓掛西口バス3番のりばに停車します。

沓掛西口バス3番のりば運行予定時刻表 平成26年3月15日改正

平日(月曜日～金曜日)				
系統番号	25A	28A	11A	12A
	桂駅東口	京都駅前(桂駅東口経由)	JR桂川駅前	JR桂川駅前(洛西経由)
6				
7				
8			45	
9			35	
10		57	40	
11		57	35	
12		57	22	
13			35	
14		57	40	
15		57	22	
16		17 50	22 41	A11 B46
17	B01 B06 A26 A41	20		31
18			01	51
19	01 A11	00 59	46	B31

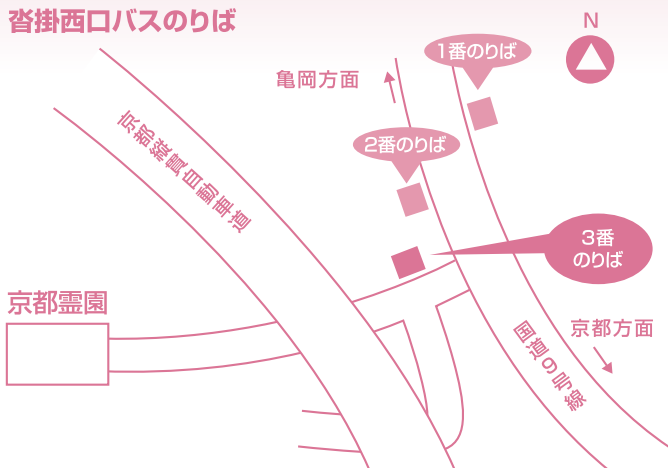
● 学休日運休 A 京都成章高校通常授業日のみ(水曜除く)運転 B 京都成章高校水曜のみ授業日運転

土日祝日				
系統番号	25A	28A	11A	12A
	桂駅東口	京都駅前(桂駅東口経由)	JR桂川駅前	JR桂川駅前(洛西経由)
6				
7				
8				
9			08	
10			06	
11			06	
12			06	
13		27	06	
14			06	
15			06	
16			06	
17				
18				
19		58		



京都霊園へは「沓掛西口」で下車

沓掛西口バスのりば



沓掛西口バス1番・2番のりば運行予定時刻表

平成26年3月15日改正

平	日(月曜日～金曜日)			
系統番号	1(1番のりば)	2・28・28B(1番のりば)	21A(2番のりば)	1・1A・2(2番のりば)
	桂駅東口(三ノ宮経由)	京都駅前(桂駅東口経由)	京都駅前(五条通経由)	亀岡駅前 保津川下り乗船場
6	58	03 29 46		
7		13 33 50		09 42 57
8		10 37 57		22
9		17 37		ホ10 赤30 赤50
10		17 37	19	ホ10 赤30 赤50
11		17 37	24	ホ10 赤50
12		17 37	24	ホ10 赤50
13		17 37	24	ホ10 赤50
14		17 37	19	ホ10 赤50
15		17 37		10 50
16		37	19 54	10 B44 50
17		10 30 50	16	10 30 A31 50
18		10 32 50	36	10 32 52
19		10 40	29	12 32 52

ホ 亀岡駅前経由保津川下り乗船場行 A 京都成章高校通常授業日のみ(水曜除く)運転 B 京都成章高校水曜のみ授業日運転

土 日 祝 日	1(1番のりば)	2・28(1番のりば)	21A(2番のりば)	1・1A・2(2番のりば)
系統番号	桂駅東口(三ノ宮経由)	京都駅前(桂駅東口経由)	京都駅前(五条通経由)	亀岡駅前 保津川下り乗船場
6		21 44		
7		21 51		54
8		27 57		20
9		27 57		ホ00 ホ35
10		27 57	19	ホ00 ホ30
11		27 57	19	ホ00 ホ30
12		27 57	19	ホ00 ホ30
13		57	19	ホ00 ホ30
14		27 57	19	ホ00 ホ30
15		27 57	24	00 30
16		27 49	19	00 30
17		19 49	59	00 30
18		19 58		03 33
19		28		03 31

ホ 亀岡駅前経由保津川下り乗船場行 ● 土曜のみ運転

京都駅前バスのりば 運行予定時刻表

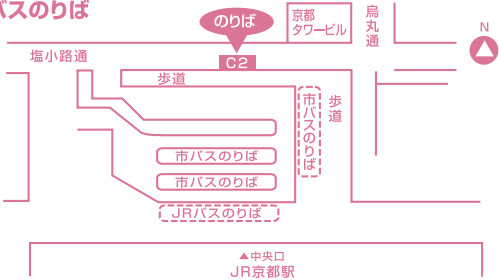
平成26年3月15日改正

平日(月曜日～金曜日)			
系統番号	2	28A	21A・27
	亀岡駅前 保津川下り乗船場	京都成章高校前	京都成章高校前
6	31		
7	16 41	06 31 51	▲00 ▲35 55
8	ホ28 ホ48	01 11 18	20 35
9	ホ08 ホ28 ホ48		05
10	ホ08 ホ28		30
11	ホ08 ホ28	48	30
12	ホ08 ホ28	48	30
13	ホ08 ホ28	48	
14	ホ08 28		
15	08 28	48	
16	08 28 46		
17	06 26 46		
18	06 28 48		
19	10 30 50		

土日祝日			
系統番号	2	28A	21A・27
	亀岡駅前 保津川下り乗船場	京都成章高校前	京都成章高校前
6			
7	12 38	01 21 48 58	55
8	ホ18 ホ53		25
9	ホ18 ホ48	08	25
10	ホ18 ホ48		25
11	ホ18 ホ48		25
12	ホ18 ホ48		25
13	ホ18 ホ48		
14	18 48		
15	18 48		
16	18 46		
17	19 49		
18	19 49		
19	23 52		

ホ 亀岡駅前經由保津川下り乗船場行 ▲桂坂中央行き(27号系統) ●土曜のみ運転

京都駅前バスのりば



JR桂川駅バスのりば 運行予定時刻表

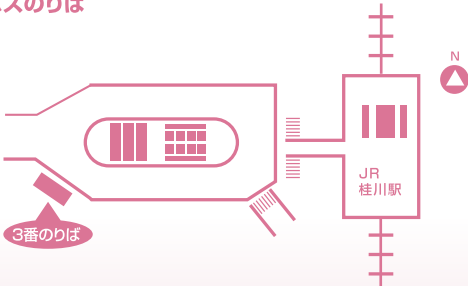
平成26年3月15日改正

平日(月曜日～金曜日)		
系統番号	11A	12A
	京都成章高校前	京都成章高校前(洛西経由)
6		
7		
8	02 14 21 40	00
9	11	
10	05 35	
11	05	
12	05 35	
13	05	
14	05	
15	05 50	
16		
17		
18		
19		

土日祝日		
系統番号	11A	12A
	京都成章高校前	京都成章高校前(洛西経由)
6		
7		
8	21	
9	34	
10	35	
11	35	
12	35	
13	35	
14	35	
15	35	
16	35	
17		
18		
19		

●学休日運休 ●土曜のみ運転

JR桂川駅バスのりば



阪急桂駅東口バスのりば 運行予定時刻表

平成26年3月15日改正

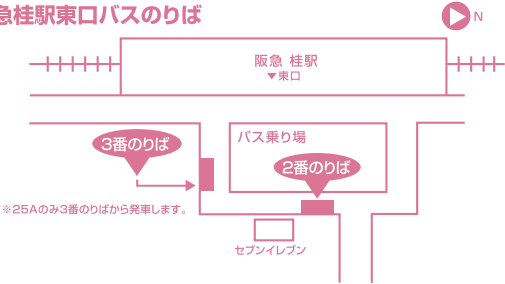
平日(月曜日～金曜日)			
系統番号	1・2	25	25A・28A
	亀岡駅前 保津川下り乗船場	桂坂中央	京都成章高校前
6	53		
7	24 39	43	29 54
8	04 赤52		02 07 12 14 19 24 35 42
9	赤12 赤32 赤52		
10	赤12 赤32 赤52		
11	赤32 赤52		
12	赤32 赤52		12
13	赤32 赤52		12
14	赤32 52		12
15	32 52		
16	32 52		12
17	12 32 52		
18	14 34 54		
19	14 34 54		

● 25A・学休日運休

土日祝日		
系統番号	1・2	25A・28A
	亀岡駅前 保津川下り乗船場	京都成章高校前
6		
7	36	25 45
8	02 赤42	12 22
9	赤17 赤42	32
10	赤12 赤42	
11	赤12 赤42	
12	赤12 赤42	
13	赤12 赤42	
14	赤12 42	
15	12 42	
16	12 42	
17	12 45	
18	15 45	
19	13 47	

赤 亀岡駅前經由保津川下り乗船場行 ● 土曜のみ運転

阪急桂駅東口バスのりば



阪急洛西口駅バスのりば 運行予定時刻表

平成26年3月15日改正

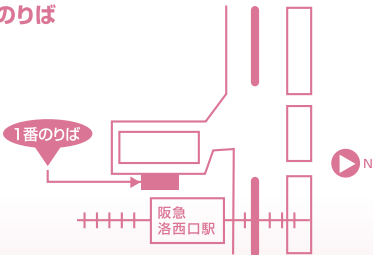
平日(月曜日～金曜日)		
系統番号	11A	12A
	京都成章高校前	京都成章高校前
6		
7		
8	04 16 23 42	02
9	13	
10	07 37	
11	07	
12	07 37	
13	07	
14	07	
15	07 52	
16		
17		
18		
19		

● 学休日運休

土日祝日		
系統番号	11A	12A
	京都成章高校前	京都成章高校前
6		
7		
8	23	
9	36	
10	37	
11	37	
12	37	
13	37	
14	37	
15	37	
16	37	
17		
18		
19		

● 土曜のみ運転

阪急洛西口駅バスのりば



(埋骨後の使用権の放棄、取り消し)

- 第9条 ①墓石建立後あるいは埋骨後に霊園の承諾を得て使用権を放棄あるいは第8条により使用許可を取り消された場合、使用権者の費用と責任に於いて更地に復して下さい。
- ②前項の場合、墓地永代使用料及び管理料は返還いたしません。
- ③3ヶ月を経過しても更地に復されない場合、霊園にて移転合祀させて戴きますが、その費用は使用権者の負担とし責任も使用権者に帰属いたします。

(墓石の建立)

- 第10条 ①墓地永代使用許可証の交付後でないと墓石の建立あるいは埋骨は出来ません。
- ②霊園の尊厳維持と管理の必要上、霊園指定いずみ石材(株)以外では墓石の建立はできません。
- ③墓石その他工作物の改修又は現状を著しく変更しようとするときは事前に届け出て下さい。
- ④墓石の規定等に必要な制限を行う事があります。
- ⑤墓地の使用区画を明確にするため墓地使用を許可した日から1ヶ年以内に、巻石(境界石)の施工を完了させて下さい。

(埋骨等の手続き)

- 第11条 ①埋骨または改葬の際には、事前に埋火葬許可証を提出し霊園の承諾を得て下さい。
- ②墓石代金を完納してなければ埋骨は出来ません。

(管理料)

- 第12条 ①管理料は、事務費並びに園内の参道等共用部分の清掃・環境整備・お盆、お彼岸の無料送迎バスの運行費用、本霊園の運営管理に用する費用です。ご使用になる墓地内の清掃管理に用する費用は含まれておりません。また、墓碑建立が施工済みか否かは関係ありません。
- ②管理料は毎年、指定の期日迄に1ヶ年分を前納して戴きます。
- ③管理料は物価の変動等を勘案し改訂させて戴きます。

(園内の管理)

- 第13条 ①園内の参道等の清掃、その他必要な管理は霊園が行います。
- ②使用区画内の清掃等は霊園では原則として行いません。

(墓地使用者の留意事項)

- 第14条 使用区画内の墓石その他工作物の転倒や、他人に迷惑を及ぼすおそれのある場合は、自己の負担で至急修理して下さい。

(天災地変等)

- 第15条 天災地変等、霊園の責によらない墓地・墓石等の損傷については、使用権者の負担とさせて戴きます。

(関係法令の遵守)

- 第16条 使用権者はこの規定のほか墓地理葬等に関する法律その他関係法令を遵守して下さい。

(規定の改訂)

- 第17条 本規定は事情の変更等により改訂させて戴きますのであらかじめご了承下さい。

以上

京都霊園墓地使用規定

(定義)

第1条 この規定は霊園の使用について定めたものです。

(使用の資格)

第2条 宗旨・宗派に関係なく使用できます。

(使用の制限)

第3条 墓地は埋骨および墓石類の建立にのみ使用できます。

但し、遺体を埋葬することはできません。

(墓地使用の申込)

第4条 墓地使用希望者は次の手続きをして戴きます。

- ①墓地永代使用申込書に住民票又は住所、氏名を明確に出来る書類を添えて提出して下さい。
- ②申込時に証拠金として5万円を前納して下さい。これは墓地永代使用料(第5条)に充当致します。証拠金納付後1ヶ月以内に墓地永代使用料を完納して下さい。
- ③万一申込を取消しされた場合、証拠金は返還致しません。

(墓地永代使用許可証の交付)

- 第5条
- ①墓地永代使用許可証は別に定める墓地永代使用料および管理料3ヶ年分を納めて戴いた後交付致します。
 - ②墓地永代使用許可証を紛失あるいは著しく汚損したときは再交付を申請して下さい。
 - ③墓地使用を取り消された場合、あるいは墓地を必要としなくなった場合は直ちに墓地永代使用許可証を返還して下さい。
 - ④既納の永代使用料および管理料は一切返還致しません。

(住所変更等の届出)

第6条 住所・電話番号等に変更が生じたときは直ちに届け出て下さい。

(承継)

第7条 永代使用者の名義変更をする場合、相続人又は親族の一人のみに変更可能ですので速やかに霊園に届け出て下さい。提出戴く書類は次の通りです。

- ①墓地永代使用継承許可申請書
- ②戸籍謄本
- ③承継者の印鑑証明書
- ④墓地永代使用許可証
- ⑤名義書替料

(生前承継の場合は永代使用者の印鑑証明書を追加して下さい。)

- ⑥相続人及び親族がない場合は、霊園にご相談願います。

(使用許可の取り消し)

第8条 次の場合、墓地永代使用許可を取り消しさせて戴きます。但し、霊園の許可を得た場合はこの限りではありません。

- ①第3条に違反したとき。
- ②墓地使用を許可した日から3年を経過しても墓石を建立しないとき。
- ③使用権者が死亡あるいは7年以上所在不明で、承継する者がいないとき。
- ④5年以上管理料を納付しないとき。
- ⑤墓地を第三者に一括又は分割の譲渡又は転貸したとき。
- ⑥霊園の指示に違反したとき。

◎ 四国八十八ヶ所霊場の

由来は？

古来、四国は山岳修験道をはじめ、さまざまな修行の地でした。讃岐（現在の香川県）で生まれた弘法大師も四国各地で修行し、八十八ヶ所の霊場を開いたと伝えられています。お遍路とは、弘法大師が歩いた修行の道を巡礼することです。当初は修行の僧などが中心でしたが、弘法大師信仰が広まるとともに、一般の人も霊場巡りをするようになったそうです。

しきたり

Q & A

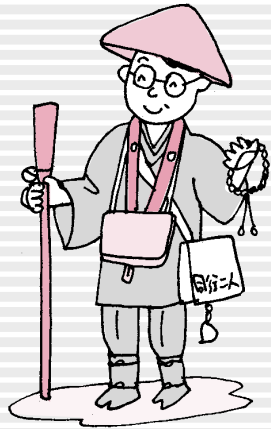
◎ 「同行二人」とは

どういう意味ですか？

お遍路さんの笠などに記されている「同行二人」どうぎょうふににんには、弘法大師と二人連れという意味があります。札所（霊場）を巡っているときはいつも弘法大師がそばにいて、護られていると考えられています。たとえグループで行っても、お遍路はその人と弘法大師との二人連れの修行なのです。四国霊場ではお遍路さんが持つ杖に弘法大師が宿るといわれています。

◎ 霊場ではどんなことを
するのですか？

お遍路では、「納札」おさめふだという手のひら
大の紙に氏名を書き、各寺院に納め
ます。このことから、八十八ヶ所の霊
場は「札所」と呼ばれています。各札
所では、本堂（金堂）と大師堂でそれ
ぞれ献灯・献香、納札、礼拝、さらに読
経や写経を行なってお経を奉納しま
す。その後、お経を納めた証しとして
「納経帳」のうけあてに印をもらいます。



お遍路の知識

平成26年（二〇二四年）は
四国八十八ヶ所開創二二〇〇年

◎ 四国の方はお遍路に
親切と聞きました。

四国では、弘法大師に帰依して巡礼
するお遍路さんを温かく迎え、施し
を行なう「お接待」という慣習があり
ます。食べ物や飲み物をくださったり、
接待所という休憩所を提供してくだ
さったり、「善根宿」ぜんこんやどという宿を提供
してくださることもあります。接待
を受けた場合は、「南無大師遍照金
剛（ナムダイシヘンジョウコンゴウ）」
の宝号を唱え、納札を手渡します。

仏教用語の 基礎知識

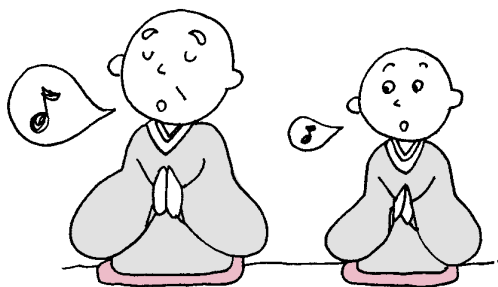
vol.36

「図に乗る」

広辞苑を引きますと、「図に乗る」とは、「うまく事がはこぶ。予想した通りになつて調子にのる。また、調子にのつてつけあがる。」日本永代蔵二「何事をしても図に乗つて今は金銀うめきて(なにをやつてもうまく事がはこび、今では、お金が儲かつて)」と出てきます。

「図に乗る」とは元々、仏教の声明しやうめいからきた言葉になります。

古代インドの学問の体系に、①声明…音韻・文法・文学、②因明(いんみょう)…論理学、③内明(ないみょう)…仏教の教理学、④工巧明(くぎようみょう)…



う)∴工芸、数学、暦学、⑤医方明(いほうみょう)∴医学、という、五つの分類方法(五明)がありました。その内、声明は、インドから中国を通じて渡来し、日本仏教においては、法要や儀式で僧侶が、お経に節を付けて、唱える声楽として伝わって来ました。また、声明のことを梵唄ぼんぱいとか、魚山ぎょざんともいいます。(梵は、「インドからの」という意味で、魚山は、日本での声明の発祥地が、京都大原三千院の内、魚山来迎院といわれているところから)

「図に乗る」に話を戻しますと、「図」とは、声明の転調(声を上げたり、下げたりすること)を指示する図表になります。声明は口伝で伝えられるもので、なかなか難しく、図表通り転調がうまくいった時、「図表通りにいく」↓「図にのる」といったのでした。

一般の用語に転じてからは、つけあがる意味に転調してしまいました。「頭に乗る」という表記は、意味が転じてからの当て字と考えられています。

合 掌

故人の遺徳を偲ぶ

年忌法要

年忌法要を営む年

亡くなった翌年の命日が一周忌、翌々年が三回忌にあたり、以後、年忌表にあるように、五十回忌まで営むのが一般的とされています。しかし、宗教・宗派により異なることもありますので、ご不明な点などは、ご縁のある寺院などにお尋ねくださるようお願いします。

年忌法要の日取り

法要は故人の命日、あるいは速夜^{たいや}と呼ばれる、命日の前日に営むのが一般的とされています。ただ、最近では参列者の都合などを考えて、休日^{きふ}に営むことが多くなっています。この場合、命日よりも日の浅い日（早い日）を選ぶといでしょう。

年忌法要の招待者

一周忌は親戚、故人と親しいおつきあいのあった友人・知人などをお招きし、三回忌以降はご遺族、親戚だけで営むのが最も一般的です。故人との関係を考えて招待する方を決めてください。法要の前には墓や仏壇を忘れずに手入れしたいものです。

平成二十六年【年忌表】

五十回忌	三十三回忌	二十三回忌	十七回忌	十三回忌	七回忌	三回忌	一周忌
昭和四十年亡	昭和五十七年亡	平成四年亡	平成十年亡	平成十四年亡	平成二十年亡	平成二十四年亡	平成二十五年亡

2014年(平成26年) 春のお彼岸行事のご案内

春のお彼岸

3月21日(金・祝)・22日(土)・
23日(日)の3日間

お盆・お彼岸の期間は、下記の受付時間にて開園しております。

◎管理事務所受付時間 9:00～17:00

◎開門時間 7:00～18:00

◎無料送迎バス(大型シャトルバス)

区 間 / 阪急桂駅西口～京都霊園

始 発 / 午前8時15分(阪急桂駅・西口発)

終 発 / 午後5時(霊園発)

●お彼岸の業務について

平成26年3月20日(木)は通常業務となります。



どなた様でもお参り、
お焼香ができます。

水子地藏尊お供養日のお知らせ

3月23日(日) 午前11時より

無料送迎マイクロバス運行のお知らせ

京都霊園送迎バスは、下記の予定で阪急「桂」駅まで運行しております。

3月	1日(土)、2日(日)、8日(土)、9日(日)、15日(土)、16日(日)、 29日(土)、30日(日) 3/21、3/22、3/23は桂駅西口から大型シャトルバスが運行します。
4月	5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)、 26日(土)、27日(日)、29日(火・祝)
5月	3日(土・祝)、4日(日・祝)、5日(月・祝)、6日(火・休)、10日(土)、 11日(日)、17日(土)、18日(日)、24日(土)、25日(日)、31日(土)
6月	1日(日)、7日(土)、8日(日)、14日(土)、15日(日)、 21日(土)、22日(日)、28日(土)、29日(日)
7月	5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日) 21日(月・祝)、26日(土)、27日(日)

※但し、春秋のお彼岸、お盆の期間及び、年末と正月三が日は園内交通渋滞の為運休致します。
また、冬季は積雪のため運休する場合もございます。

※この時刻表は、交通事情により多少変わる場合がございますので、ご了承ください。

※バスの乗車人数は28人乗りです。道路交通法により定員以上のご乗車はできませんので、満席の場合はご了承ください。なお、ご乗車できない場合にご利用された公共の路線バス運賃は、ご利用者の負担となります。

■ 京都霊園送迎バス 運行時刻表

無料送迎バス 時刻表							
乗 降 場 所		1	2	3	4	5	6
阪急 桂駅 発車		9:00		10:55		12:50	
京都霊園(管理事務所前)着		9:22	10:10	11:17	12:05	13:12	14:00
霊園内 停車場所	せんだん地区 前	9:24	10:12	11:19	12:07	13:14	14:02
	岩切不動明王 前	9:25	10:13	11:20	12:08	13:15	14:03
	るりこはく地区 前	9:26	10:14	11:21	12:09	13:16	14:04
	霊園折返し地点	9:29	10:17	11:24	12:12	13:19	14:07
	ききよう・さくら地区 前	9:30	10:18	11:25	12:13	13:20	14:08
	あやめ・はぎ地区 前	9:31	10:19	11:26	12:14	13:21	14:09
	ホニ地区 前	9:32	10:20	11:27	12:15	13:22	14:10
	ハロ地区 前	9:33	10:21	11:28	12:16	13:23	14:11
	八角堂休憩所 前	9:35	10:23	11:30	12:18	13:25	14:13
	京都霊園(管理事務所前)発車		10:26		12:21		14:16
阪急 桂駅 発車			10:48		12:43		14:38

■ 阪急桂駅東口 バスのりば

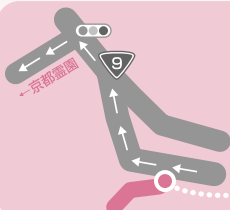
お盆・お彼岸の送迎バスとは
乗り場が異なりますので、ご注意ください。



交通のご案内

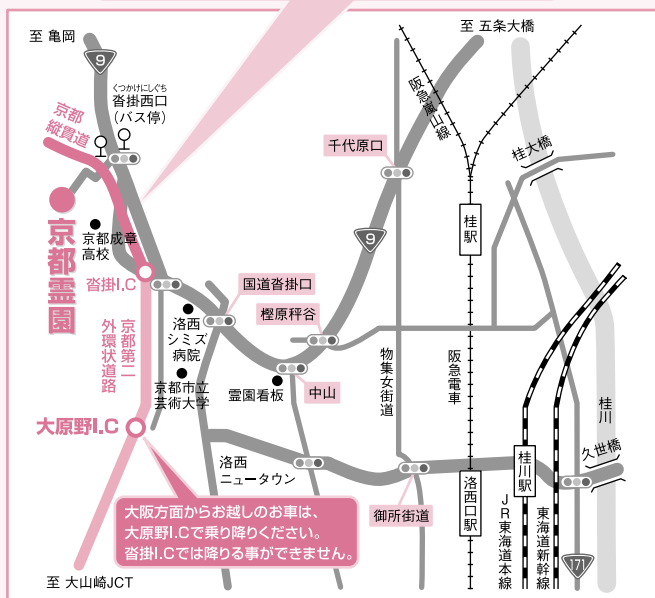
平成25年(2013)4月に「京都第二外環状道路」が開通、名神高速道路(大山崎JCT)とも直結しましたので、京都霊園への交通アクセスがより便利になりました。

名神方面からお越しの場合は、**大原野I.C** 出口をご利用ください。



京都市内からお越しの方は、京都縦貫道(左車線側)に入らずに9号線を直進し、ひとつ目の信号を左折してください。

京都縦貫道亀岡方面入口



京都霊園ホームページ リニューアルのご案内

●最新の情報をトップページに記載。例えば、お彼岸やお盆の無料送迎バスの運行日程や、冬季の降雪による霊園内車道の積雪情報などもご確認いただけます。

●当冊子「やまびこ」をpdfファイルにて掲載。



ホームページアドレス

<http://www.kyoto-reien.jp>

または、 で宗教法人 仏舎利苑 京都霊園をクリック



京都霊園からの お知らせ



合祀供養塔のご案内

平成23年9月に建立完成致しました合祀供養塔。全面石造りの清楚な佇まいの施設は、大切なご先祖様を供養するのに相応しいとの評価も頂いており、宗旨・宗派を問わず受付させて頂いております。ご関心をお持ちの方は、霊園管理事務所までお問合せください。

家を継ぐ方が
おられない

このような方々
にお薦めです

1人でも入れる
お墓があれば

子ども達に
負担を
かけたくない

無縁墓には
したくない



平成26年3月21日(金・祝)午前11時より
合同供養を行います。

墓石リニューアルのサービスを始めました。

詳しくは、ご案内チラシをご覧ください。

頑固な
水アカ汚れ



石の
シミなども
対応

(石の素材によってはお受けできない場合もございます)

公園墓地 洛西・桂



宗教法人
仏舎利苑

京都霊園

〒610-1106 京都市西京区大枝沓掛町26番地 TEL.075-331-0221(代)